

## 京都銀行が SWIFT gpi を採用

*京都銀行、日本の地方銀行として最初の gpi サービスを提供する銀行に。*

2019年7月京都銀行は、SWIFT gpiに参加しました。SWIFT gpiは、外国送金の迅速化、透明性の向上、送金の状態を把握できる追跡機能を備え、外国送金のユーザーエクスペリエンスを大幅に改善するサービスであり、外国送金の新たな標準になっています。京都銀行は、メガバンク3行に続き、日本の地方銀行として初めてこのサービスを採用しました。

2017年にスタートしたこのサービスは、既に世界3,500行以上が採用し、520行が実際に顧客向けサービスを提供しています。その取引実績は、送金の国別ルートでは120以上、一日の取引金額が3,000億米ドルを以上になっています。京都銀行は、SWIFT gpiを活用してどの時点でも状況把握が可能な透明性の高い外国送金を迅速かつ安全な方法で世界中のどこへでも提供できるようになります。SWIFT gpiは、コルレス銀行網を通じて外国送金の確実性、迅速性の向上させることが出来、取引企業への欠かせないサービスになっています。

SWIFT Japan のカントリーマネージャーであるアラン デルフォッセは次のように述べました。「送金のリアルタイム化は、今や世界の潮流であり、アジアおよび世界の送金システムのあり方にも変化が現れています。個人・企業を問わず銀行のサービスに対する要求水準が上昇している中で、gpiが提供する透明性とスピードの改善は取引先の流動性管理の強化と業務コストの削減に貢献することが出来るでしょう。京都銀行様がこのイニシアティブに参加されたことを心より歓迎いたします」

## SWIFT gpi の計数

決済の開始から完了まで**100%**追跡可能です。

**50%** のgpi 送金は受益者口座に**30分**以内に着金。**40%**は**5分**以内に、多くは秒単位で処理されています。

ほぼ**100%** のgpi 送金は**24時間**以内に完了しています。

**3,000億**米ドル以上の金額がgpiで**148通貨**で実施され、**1,100もの**国別送金ルートで利用されています。

**3,500**を超える金融機関が既に利用を確約し、準備しています。

**450+** 以上の銀行が本番サービスとして利用しています。

2019年4月現在の数字

- ・SWIFT gpi: gpi ビジネスケース立案ガイド
- ・外国送金サービスの水準を高める5つの必須ポイント

に関しましては、別に掲載している PDF ファイルをご覧ください。